

第1回岩手県放射線内部被ばく健康影響調査有識者会議結果(要旨)

日 時:平成 24 年 11 月 26 日(月)17:00~18:45

場 所:県庁 12 階 特別会議室

1 座長及び座長代行の選任

次のとおり選任されたこと。

座長:西崎委員、 座長代行:板井委員

2 会議の公開

原則として公開とし、個人情報保護の観点から支障が生じる場合などは座長が会議に諮って非公開とすることもできることとされたこと。

3 報告事項

(1)前回調査結果及びその後の経過について、資料 No.1~2により説明。

(2)今年度調査の概要等について、資料 No.3により説明。

4 協議事項

(1)調査結果の評価の進め方等について協議がなされた結果、次のとおりとされたこと。

ア 1日当たりの尿量の推計方法について

前回調査と同様に、採尿の欠落があった場合や採尿記録が極めて不自然と認められる場合は、個々の有効の排尿時間等から算出すること。

イ 放射性物質の摂取パターンについて

過大評価とはなるが、安全性の原則に立って、前回調査以降の「公衆による経口摂取(慢性摂取)」により評価すること。

(2)今回調査の全体評価及び今後の対応等について、事前に各委員の意見・助言等をお聞きしたうえで、次回会議において協議することとしたこと。(事前にお聞きした内容は、次回会議ですべて公表)

5 その他

(1)食品の放射線量の経時的変化を評価に反映すべきとの意見があり、情報収集することとしたこと。

(2)甲状腺検査の必要性等については、国の甲状腺結節性疾患有所見率調査の結果を踏まえて検討することが適切との意見があったこと。